



# 碧の風

千葉市立川戸中学校  
校報 第5号  
令和5年9月15日

## 夏の思い出

校長 板垣 章子

酷暑といわれるほどの今夏でしたが、未だ30℃を超える残暑が続いています。そのような中でも、総合体育大会でバスケットボール部が千葉市第3位になったり、卓球部では個人戦で県大会に出場したりするなど、川戸中学校の生徒たちはベストを尽くし、立派な成果を上げることができました。夏休み明けの全校集会では、文化部も含めた各部の部長が、これまでの活動を振り返るとともに、下級生への心を込めたメッセージを堂々と語りました。

夏と言えば、お祭り。8月13日に「川戸地区盆踊り大会」が行われました。ボランティア組織「川戸地区コミュニティづくり懇談会（通称コミコン）」を中心に地域の方々が協力し、何か月も前から準備をしてきたものでした。グラウンドの中心には立派なやぐらが建設され、数多くのちょうちん、会場を取り巻く屋台のテントなど、学校が立派な祭り会場に様変わりしました。残念ながら本番では大雨に見舞われ、予定していた時間を切り上げざるを得ませんでした。それでも多くの人々でにぎわい、活気ある時間となりました。

川戸地区盆踊り大会は30年ほど前から始まり、あえて8月13、14日にこだわってきたそうです。子供たちが大人になり、川戸に帰省する日に集まれる場所が、この祭りであってほしいという願いが込められているそうです。これから先も、末永く続いていってほしいと思います。そして来年はどうか、晴れますように。

9月も半ばを過ぎ、夕暮れが早まるとともに、虫の音が秋の訪れを告げています。生徒たちも前期期末テストが終了し、後期に向けての準備が始まっています。部活動では3年生から2年生へのバトンタッチがすでに行われ、フレッシュなリーダーたちの元気な声が響き渡ります。さらに生徒会役員選挙の後には、生徒会長をはじめ、本部役員、専門委員長も、2年生へと引き継がれます。一方3年生にとっては、進路決定に向けて本気で自分と向き合わなければならない時期に突入します。

それぞれの生徒が、自分らしく健やかに成長してくれることを願います。



残暑のグラウンドを彩るカンナの花